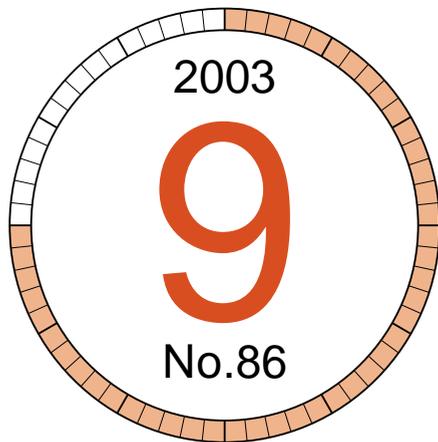


シネマ

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

Ciné-là



シネマニュース



収蔵映画特集

Bangladesh 映画特集

日本映画 名作選 2003



「切られ与三郎」

日本映画名作選 2003

戦前のエノケンと山本嘉次郎監督とのコンビによる代表的喜劇「エノケンのちゃっきり金太」から1980年代の鈴木清順監督による「ツィゴイネルワイゼン」まで、時代を代表する日本映画の名作、傑作を上映します。また、木下恵介監督の代表作「カルメン故郷に帰る」は英語字幕付きです。

Bangladesh 映画特集

Bangladesh のアイデンティティーを持った芸術映画を作るという流れが確実に定着している中、今回はその先駆者であるモルシェドウル・イスラム監督の三作品と、同じく国際映画祭で高く評価された「根のない樹」の4本を上映します。



「転校生ディブ」

映画大国インドに隣接し、文化的影響を
うけながら、独自の映画製作を続けるバ
ングラデシュ映画の特集

バングラデシュ映画特集

会 期:平成15年9月4日(木)~7日(日)

観覧料:500円(大人)400円(大学生・高校生)300円(中学生・小学生)

定員制・各回入替制。
チケットはすべて当日券。前売り券はありません。
福岡市在住の障害者の方は無料。福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)

バングラデシュの映画

バングラデシュはベンガル語を話すこと等、もともとインド文化の影響が強く、映画もインドの娯楽映画が上映の中心です。バングラデシュでも、年間60~70本の作品が作られています。ほとんどがインド映画を模倣した娯楽映画です。そういった状況に一石を投じるべく80年代半ばに低予算による芸術映画製作の運動が起きます。その代表がモルシエドウル・イスラム監督で、「車輪」は世界各国で評判となりました。もちろんそれでバングラデシュ映画の状況が変わるわけではないのですが、バングラデシュのアイデンティティーを持った芸術映画を作るという流れは確実に定着しています。今回はその先駆者であるモルシエドウル・イスラム監督の三作品と、同じく国際映画祭で高く評価された「根のない樹」の4本を上映します。



「根のない樹」

福岡市総合図書館では、日本映画の傑作に英語字幕を付けて上映いたします。今年は1951年、木下恵介監督、高峰秀子出演の日本初オール・カラー映画「カルメン故郷に帰る」をご覧ください。特殊な準備が必要なため、英語字幕付きはこの特別な機会にしか上映できません。この機会に是非ご覧ください。

The Fukuoka City Public Library will again put its own subtitles to a masterpiece in Japanese cinema. This year, we will present "Carmen Comes Home", Japan's first all color film made in 1951 directed by Keisuke Kinoshita and starring Hideko Takamine. Because special preparations are necessary in presenting English subtitles, the subtitled version of this film can only be exhibited during this special occasion, so please don't miss this opportunity of a lifetime.

カルメン故郷に帰る Carmen Comes Home

英語字幕付き
with English subtitles

9月13日(土)14:00 9月14日(日)14:00



1951年/35ミリ/カラー/86分/
松竹
監督・脚本:木下恵介/出演:高
峰秀子、佐野周二
Directed by Keisuke
Kinoshita
Starring
Hideko Takamine,
Shuji Sano

日本初のオール・カラー長編映画。ストリップを芸術と信じ、自らを東京で成功した芸術家だと思っているストリッパーのカルメンことおきんは、仲間のマヤを連れて田舎へ里帰りをする。その派手な格好と突飛な行動で村は大騒ぎとなり、父親は熱を出して寝込んでしまう...。黒澤明と並んで戦後日本映画を代表する監督の一人である木下恵介は、抒情的な作品と共に喜劇においても際だった才能を發揮していた。この作品はそうした彼の喜劇映画の代表作である。

Okin leaves home and becomes a famous stripper in Tokyo. Believing stripping to be an "art", she visits her home village in the country, bringing Maya, another stripper, along. Their flashy clothes and wild behavior turns the village upside down. Okin's father is so shocked and embarrassed that he is bedridden with a fever. Other problems arise in a wonderful comedy brought to you by one of Japan's master film directors.

ひめゆりの塔

9月10日(水)14:00 9月15日(月・祝)14:00



太平洋戦争末期の沖縄、学徒動員によって女学生達が駆り出されて「ひめゆり部隊」が結成された。国内で唯一、地上戦の舞台となった沖縄で彼女たちは戦闘に巻き込まれ、敗走を続ける日本軍の狂気によって悲惨な最期を遂げた...。監督・今井正、脚本・水木洋子は戦争の狂気をセミドキュメンタリー・タッチで描いている。

1953年/35ミリ/モノクロ/127分/東映/監督:今井正/出演:津島恵子、香川京子

昨日消えた男

9月11日(木)14:00 9月20日(土)11:00



ダシール・ハメットの「影なき男」を原案にした時代劇。嫌われ者の裏長屋の大家、勤兵衛が何者かに殺される。日頃から勤兵衛に対して悪態をついていた文吉や勤兵衛に借金があった浪人の篠崎源衛門などが疑われるが...。「生きる」「七人の侍」の脚本家・小国英雄が脚色、マキノ正博が監督した本格推理時代劇。

1941年/35ミリ/モノクロ/89分/東宝/監督:マキノ正博/出演:長谷川一夫、山田五十鈴

エノケンのちゃっきり金太

9月10日(水)19:00 9月13日(土)11:00



1930年代から1940年代にかけて絶大な人気を博したコメディアン、「エノケン」こと榎本健一。本作はマッカレイの「地下鉄サム」をベースにし、エノケンと山本嘉次郎監督とのコンビによる代表的喜劇である。時は幕末、スリの金太は財布と一緒に勤皇派の密書を盗んでしまい、薩摩の侍と岡っ引きに追われる羽目に...

1937年/35ミリ/モノクロ/72分/P C L/監督:山本嘉次郎/出演:榎本健一、中村是好

東海道 四谷怪談

9月11日(木)19:00 9月21日(日)11:00



鶴屋南北原作の有名な怪談の映画化。監督の中川信夫は怪談映画の名手として有名だが、彼の作品の中でも屈指の名作の一つとして知られるのが本作である。物語はいわゆる「お岩さん」で知られるもので、妻のお岩が邪魔になって毒殺した浪人・民谷伊右衛門が、お岩の亡霊に呪い殺されるというもの。

1959年/35ミリ/カラー/77分/新東宝/監督:中川信夫/出演:天知茂、若杉嘉津子

収蔵映画特集 日本映画名作選2003

苦難の大地

Dukhai

9月4日(木)14:00 9月6日(土)11:00



ドゥカイは妻と娘と三人で暮らしていたが、ある日サイクロンにより、家族を失ってしまう。絶望に沈むドゥカイだが、再び妻を迎え、女の子が生まれる。美しく成長した娘のためにドゥカイは結婚の準備をする。その時再び巨大なサイクロンが襲い、ドゥカイはまた妻と娘を失ってしまう。実話を元にした映画で、人生の無常が伝わってくる。

1997年/35ミリ/カラー/128分/ Bangladesh/日本/日本語・英語字幕付き/
監督:モルシエドゥル・イスラム/出演:ライスル・イスラム・アサド、アミール・ホク・チョードリ

車輪

The Wheel

9月4日(木)19:00 9月7日(日)11:00



二人の男が牛車に乗って村を通ると、診療所の医者呼び止められる。よその村の若者が死んだので、牛車で死体を若者の村まで運んでほしいと頼まれる。二人が言われた村まで行くと、村の若者ではないと言われ、二人は死体を抱えたまま、右往左往することになる。不条理な物語の Bangladesh 映画の傑作。

1993年/35ミリ/カラー/65分/ Bangladesh/日本/日本語・英語字幕付き/
監督:モルシエドゥル・イスラム/出演:アミール・ホク・チョードリ、アジシュ・コンドカール

転校生ディプー

Dipu Number Two

9月5日(金)14:00 9月7日(日)14:00



少年ディプーは12才。父親と二人で町に転校してくる。学校でガキ大将のタリクと喧嘩をするディプーだが、次第に二人は認め合い、親友になる。タリクはディプーに一番の秘密を教えるのだが、それは山の中にある古代遺跡だった。著名な児童文学の映画化作品。プリント状態があまり良くありません。ご了承ください。

1996年/35ミリ/カラー/155分/ Bangladesh/日本/日本語・英語字幕付き/
監督:モルシエドゥル・イスラム/出演:オルン・シャハ、プルブル・アハメド

根のない樹

A Tree without Roots

9月5日(金)19:00 9月6日(土)14:00



ある村にモジドという男がやって来る。彼は森の中に聖人の墓を発見し、そこに住み着き、村人にイスラム教を布教していく。やがて村人はモジドを聖人として扱うようになっていく。村人がイスラム教化されていく様や、宗教の欺瞞を描いた作品で、世界各国の映画祭で高く評価された。

2001年/35ミリ/カラー/113分/ Bangladesh/日本/日本語・英語字幕付き/
監督:タンビール・モカンメル/出演:ライスル・イスラム・アサド、ムニラ・ユスフ・メミ

会期:平成15年9月10日(水)~9月23日(火・祝)

休館日・休映日除く

観覧料:500円(大人)400円(大学生・高校生)300円(中学生・小学生)

定員制・各回入替制。
チケットはすべて当日券。前売り券はありません。
福岡市在住の障害者の方は無料。福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)

戦前のエノケンと山本嘉次郎監督とのコンビによる代表的喜劇「エノケンのちゃつきり金太」から1980年代の鈴木清順監督による「ツィゴイネルワイゼン」まで、時代を代表する日本映画の名作、傑作を上映。また、木下恵介監督の代表作「カルメン故郷に帰る」は英語字幕付きです。

真空地帯

9月12日(金)14:00 9月15日(月・祝)11:00



太平洋戦争当時の軍部の狂気と腐敗を戦地ではなく、国内で出兵前に訓練し、戦地へと送り出す兵営を舞台として描いた作品。監督を始め、スタッフの多くが入隊経験者を持っていたこともあって、こうした兵営の中の生活がリアルに描かれている。大阪の連隊の兵営に陸軍刑務所に送られていた木谷一等兵が戻ってくる...

1952年/35ミリ/モノクロ/128分/新映画社/監督:山本薩夫/出演:木村功、下元勉

切られ与三郎

9月18日(木)11:00 9月20日(土)14:00



歌舞伎の世話物の一つ「話情浮名横櫓」の映画化。「死んだはずだよ、お富さん」という歌でも有名な源氏店の場面はさらりと描かれ、総領養子の立場から実子の与三郎に遠慮して家を飛び出し、放蕩三昧の末にお尋ね者となる与三郎とその彼に一途な思いを寄せる義理の妹・お金との顛末を情感豊かに描いている。

1960年/35ミリ/カラー/94分/大映/監督:伊藤大輔/出演:市川雷蔵、淡路恵子

砂の女

9月12日(金)19:00 9月21日(日)14:00



カンヌ映画祭審査員特別賞ほか国内外で高い評価を獲得した勅使河原宏の長編第二作。脚色を原作者の安部公房が自ら手掛け、主演の岡田英次、岸田今日子の演技も見事で観念的な原作を見事に映画化することに成功している。昆虫採集が趣味の男が迷い込んだ砂丘の村で罠にはまり、女が独りで住むアリジゴクのような家に閉じこめられる...

1963年/35ミリ/モノクロ/147分/勅使河原プロダクション/監督:勅使河原宏/出演:岡田英次、岸田今日子

ツィゴイネルワイゼン

9月18日(木)14:00 9月23日(火・祝)14:00



60年代半ばよりその独自の映像表現と美学によって注目を集める鈴木清順の80年代の代表作がこの「ツィゴイネルワイゼン」である。ストーリーの下敷きとなっているのは内田百閒の「サラサーテの盤」を中心とした短編で、幻想的な物語と刹那的な映像美が見事に相乗して特異な世界を作り出している。

1980年/35ミリ/カラー/144分/シネマプラネット/監督:鈴木清順/出演:原田芳雄、大楠道代

醜聞(スキャンダル)

9月14日(日)11:00 9月19日(金)14:00



黒澤にとって「羅生門」の前作にあたるこの作品は、個人のプライバシーを無視したジャーナリズムによる過剰報道を告発した作品である。しかし、そうしたスキャンダルリズムに毅然として立ち向かい、訴訟をおこす三船敏郎演じる青年画家よりも、弁護士を引き受けながら、相手方から賄賂をもらって志村喬演じるインチキ弁護士の描写が魅力的だ。

1950年/35ミリ/モノクロ/105分/松竹/監督:黒澤明/出演:三船敏郎、志村喬

嵐を呼ぶ男

9月19日(金)11:00 9月23日(火・祝)11:00



1956年の「狂った果実」で脚本を浴びた石原裕次郎をまさしく国民的なスターに押し上げ、以後の日本の青春映画の流れを変えた作品。ジャズドラマーを目指す主人公・国分正一は猛特訓を続ける中、マネージャーの美弥子と互いに惹かれあうようになる。そしてライバルとのドラム合戦の前日、正一はトラブルに巻き込まれ、手を負傷するが...

1957年/35ミリ/カラー/100分/日活/監督:井上梅次/出演:石原裕次郎、北原三枝

9月 上映スケジュール

1	月	休館日
2	火	休館日
3	水	休映日
4	木	映画特集 【14:00】苦難の大地 【19:00】車輪
5	金	映画特集 【14:00】転校生ディブー 【19:00】根のない樹
6	土	映画特集 【11:00】苦難の大地 【14:00】根のない樹
7	日	映画特集 【11:00】車輪 【14:00】転校生ディブー
8	月	休館日
9	火	休映日
10	水	【14:00】ひめゆりの塔 【19:00】エノケンのちゃっきり金太
11	木	【14:00】昨日消えた男 【19:00】東海道 四谷怪談
12	金	【14:00】真空地帯 【19:00】砂の女
13	土	【11:00】エノケンのちゃっきり金太 【14:00】カルメン故郷に帰る
14	日	【11:00】醜聞(スキャンダル) 【14:00】カルメン故郷に帰る
15	月祝	【11:00】真空地帯 【14:00】ひめゆりの塔
16	火	休館日
17	水	休映日
18	木	【11:00】切れ与三郎 【14:00】ツィゴイネルワイゼン
19	金	【11:00】嵐を呼ぶ男 【14:00】醜聞(スキャンダル)
20	土	【11:00】昨日消えた男 【14:00】切れ与三郎
21	日	【11:00】東海道 四谷怪談 【14:00】砂の女
22	月	休館日
23	火祝	【11:00】嵐を呼ぶ男 【14:00】ツィゴイネルワイゼン
24	水	休映日
25	木	休映日
26	金	休映日
27	土	休映日
28	日	休映日
29	月	休館日
30	火	休館日

日本映画名作選 2003

アーカイブ News

平和への希望を諦めずに



マリルー・ディアス=アバヤ監督

フィリピンを代表する女性監督マリルー・ディアス=アバヤ監督に「光、新たに」についてお聞きしました。この作品は2001年の同時多発テロ事件を予測したかのような作品で、フィリピンの社会問題であるイスラム教とキリスト教の宗教紛争を超えて平和をアピールする感動作です。

脚本を書きました。また作品の完成後の今でもピースワーカーとして平和を促進する活動に携わっています。

「光、新たに」を撮った理由は？
フィリピン・ミンダナオ島の絶え間ない紛争で子供達が犠牲になっている現状を「平和」のために撮ってほしいと共同製作者から頼まれ、何も考えずに思わず「ハイ」と言っていました。

この映画に対する反応は？
同時多発テロが起きたその3ヶ月後にマニラでこの映画を上映するべきかどうか迷いましたが、思い切っていました。映画は大ヒットしましたが、それよりも観客の反応に感動しました。映画館のロビーにシャイなイスラム系フィリピン人が溢れ、そして映画を見終わった子供や高齢者が彼らを抱きしめてあつく歓迎したのです。その瞬間をわたしは決して忘れません。映画はとてもパワフルな媒体だと思いましたが、これほど影響力を与えるものとは思っていませんでした。これはフィリピンだけのできごとではありません。海外での初上映はNYのアジアン・アメリカン国際映画祭でした。ここでも、また同じように感動し、これに私も感動しました。

制作で苦労されたことは？
「ハイ」といったものの、私はミンダナオのイスラム教徒対キリスト教徒の紛争や、イスラムに関しても無知でした。ですから次の14ヶ月間に渡ってイスラム教について勉強しました。その間驚くことばかり起きました。まずミンダナオ島滞在中に当時のエストラダ大統領がこの島の対抗勢力に全面的な宣戦布告を実施したことから、私は内戦が続いた半年の間、戦場にいることになりました。

この映画で一番伝えたいことは？
この作品は、フィリピンの宗教紛争を超えて平和を求めようと訴える映画です。この映画を作るにあたって私は、平和がどれほど遠ざかって見えても絶対諦めてはいけないことを学びました。皆さんにもそのような考えていただきたいと思います。

怖かったですか？
この体験が私の人生を変えたといっても良いでしょう。私は難民センターの住人に、また政府軍・反乱軍の兵士、自警団員や異なる部族や様々な宗教に触れることができました。そしてこの体験に感動し、内戦の拡大とともに

インフォメーション

シネラニュース送付のご案内

定期購読ご希望の方に毎月シネラNEWSをお届けしております。購読を希望される方は、平成15年10月号～平成16年5月号までの郵便切手(90円×7ヶ月)を同封の上、下記宛先へお申込ください。
宛先:〒814-0001福岡市早良区百道浜3-7-1 福岡市総合図書館 映像資料課

ビデオ編集技術研究室のご案内

ビデオ研究室では、家庭で撮影されたビデオ(Hi8・DV)や各行事の記録ビデオの編集などに利用できます。(使用料1時間500円、連続使用3時間迄)
詳しくは福岡市総合図書館映像資料課まで

公共交通機関ご利用のお願い

駐車場は図書館利用者の共用であり、映像ホール専用の駐車場はありません。駐車スペースに限りがあり、常時混雑しておりますので長時間の駐車はご遠慮いただいております。できるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします。土日祝日のご利用や1日に複数回の映画をご覧いただく場合などは、特にご協力をいただきますようお願いいたします。

交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。



地下鉄：西新駅または藤崎駅から徒歩15分
西鉄バス：天神～都市高速経由～福岡タワー南口(所要時間:昼間約20分) 博多駅～都市高速経由～福岡タワー南口(所要時間:昼間約25分) 福岡タワー南口バス停から徒歩3分
いずれも、昼間は10～15分間隔で運行されていますので大変便利です。お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセンター(電話:733-3333)に直接お問い合わせください。

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là 福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
福岡市総合図書館(代表)092(852)0600 映像資料課092(852)0608 Fax.092(852)0609
福岡市総合図書館ホームページアドレス <http://toshokan.city.fukuoka.jp/>